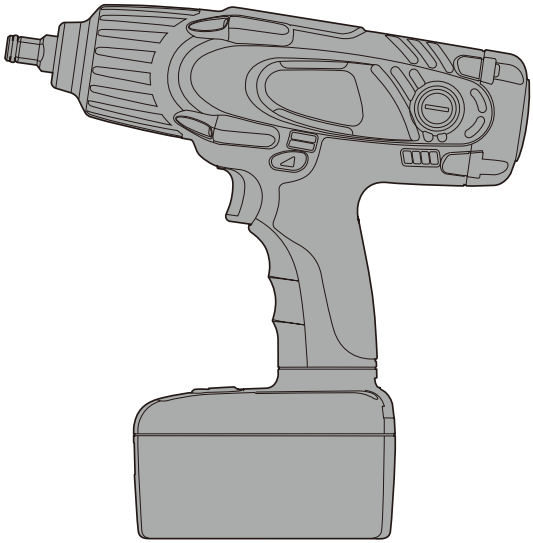
KTC
KYOTO TOOL

12.7sq. ホイールナット専用
コードレスインパクトレンチ・セット
No.JAE402・No.JTAE424

取扱説明書



このたびは、KTC 12.7sq. ホイールナット専用コードレスインパクトレンチ・セット（No. JAE402・No. JTAE424）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をより安全・適切にお使いいただくためにこの取扱説明書をお読みください。取扱説明及び表示の注意事項や使用方法は十分にご理解したうえで正しくお使いください。この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

本製品は主として、乗用車のホイールナット緩め作業向け電動コードレスインパクトレンチです。

目　　次

安全上のご注意　1 ～ 3

入組内容と各部名称　4

仕　　様　5

バッテリーパックの着脱方法　6

・バッテリーパックの取り外し

・バッテリーパックの装着

充電方法　7 ～ 8

・充電を行う前に

・充電する

・充電器のランプの見かた

・バッテリーインジケーターの見かた

バッテリーパックについて　8

インパクトレンチ使用について　9 ～ 11

・先端工具

・先端工具を取り付ける

・インパクトレンチの操作

・保守、保管方法

故障かな？と思った時は　12 ～ 14

・充電時

・作業時

・その他

カーボンブラシの交換　14

安全上のご注意

・ご使用前に、この「安全上のご注意」を全てお読みの上、指示に従い正しくご使用ください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
・ここに示した事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分けしていますが、それぞれ以下の意味を示しています。

本書に記載されている安全に関わる事項は重要な事項ですので必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。
⚠注意	誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を表します。
⃠	禁止行為を表します。
❗	必ずしてほしい行為を表します。
注意	確認してほしい行為を表します。

⚠警告

作業環境を確認してください。

⃠ ・作業する場所を十分な明るさを確保してください。暗い場所での作業は事故の恐れがあり危険です。
・電動工具、充電器、バッテリーパックを雨中で使用したり、湿った場所や濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあり危険です。

❗ ・可燃性のガスや液体のある場所で電動工具を使用したり、充電をしないでください。爆発や火災の恐れがあり危険です。十分に周囲を確認してください。

濡れた手で作業しないでください。

⃠ ・濡れた手で電動工具や充電器の電源プラグ、バッテリーパックに触れないでください。感電の恐れがあり危険です。

保護メガネや防音保護具を使用してください。

❗ ・作業時は保護メガネを使用してください。また粉塵の多い作業では防塵マスクを併用してください。切削したものや粉塵が目や鼻に入る恐れがあります。
・騒音の大きい作業では耳栓などの防音保護具を必要に応じて併用してください。

作業対象物を確実に保持して作業してください。

❗ ・作業するものが固定されていない場合は、必要に応じて二人で作業してください。固定が不十分な場合、作業対象物が飛んでケガをする恐れがあり大変危険です。

不意な始動を避けるために。

⃠ ・トリガースイッチに指をかけて運ばないでください。本体が作動しケガをする恐れがあります。

❗ ・電動工具の正逆切替レバーを中央位置にし、トリガースイッチをロックしてください。
・点検や保管時、またはソケットなど先端工具を交換するときはバッテリーパックを取り外してから行ってください。
・バッテリーパックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

バッテリーパックを安全にお使いいただくために。

⊘
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
- 他の製品の充電器で充電をしないでください。
- この取扱説明書に記載されている電動工具以外は充電しないでください。破損して損害や損傷を及ぼす恐れがあります。

❗
- バッテリーパックに衝撃を加えたり、分解、改造しないでください。
- 充電を行っても使用時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しないでください。
- 本製品の充電器は家庭用１００Ｖ電源で使用してください。
- 使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
- 換気の良い場所で充電してください。
- 直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあり危険です。
- 温度が０℃未満、あるいは５０℃以上の環境で充電を行わないでください。破裂や火災の恐れがあり危険です。
- 雨中や直射日光下では充電しないでください。感電や発煙または破裂や火災の恐れがあり危険です。
- 充電器を使用中に布や可燃物などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあり危険です。
- バッテリーパックを他の工具類と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- バッテリーパックの端子間を短絡させないようにしてください。端子間で短絡し発火の恐れがあり危険です。

⊘
- バッテリーパックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗浄し、医師の治療を受けてください。

電動工具及びバッテリーパックの廃棄について。

❗
- 本体やバッテリーパックを火中に投入しないでください。バッテリーパックが破裂したり有害物質を発生させる恐れがあります。
- 本製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。バッテリーパックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。

Li-ion
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

⚠ 注意

本製品を安全にお使いいただくために。

❗
- 使用前に必ず点検を行い、各部に亀裂や破損が無いか、正常に作動するか確認をしてください。スイッチ（トリガー）で始動、停止のできない場合は使用しないでください。
- 充電器の電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- 充電器の電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、ひっかけられたりして無理な力がかからないような場所を選んで充電を行ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は直ちに使用を中止してください。（電源コードは補修部品として設定しています。）

安全上のご注意

⚠ 注意

本製品を安全にお使いいただくために。

- ・インパクトレンチのグリップは常に乾かしてきれいな状態でお使いください。油やグリースなどがついたままご使用になるとケガをする恐れがあり危険です。
- ・インパクトレンチ本体、充電器、バッテリーパックの内部に異物が入らないようにしてください。異物が入ると、発熱、発火、破裂などの恐れがあり危険です。

修理について。

- ・インパクトレンチ本体、充電器、バッテリーパックを分解したり、修理、改造は行わないでください。
- ・インパクトレンチが熱くなったり、異常に気が付いたら使用を中止して点検、修理をお買い求めの販売店様まで依頼してください。
- ・修理は必ずお買い求めの販売店様にご依頼ください。修理の知識や技術のない方が行いますと、事故やケガの原因となり危険です。

電動インパクトレンチの安全上のご注意

⚠ 警告

- ・ソケットはインパクトレンチ用ソケットをご使用ください。
- ・作業前に、先端工具が確実に取り付いているか確認をしてから作業を行ってください。
- ・指定部品の交換は、取扱説明書の指示にしたがって作業を行ってください。指定部品以外の部品は使用しないでください。
- ・回転している先端工具に触らないでください。

⚠ 注意

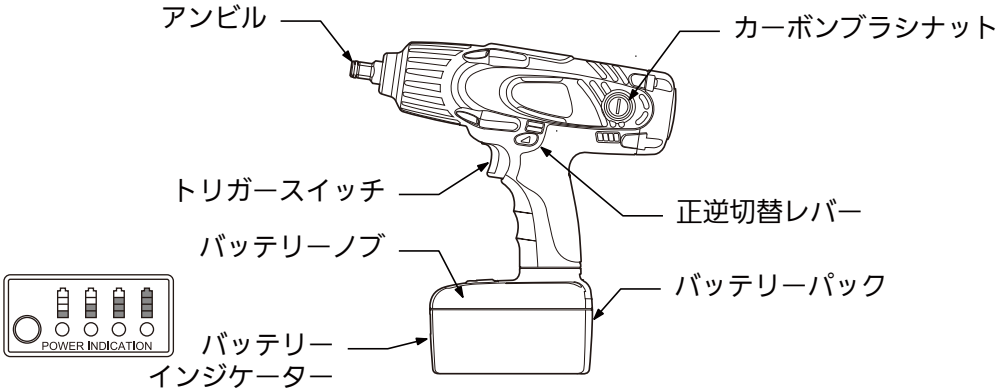
- ・空回転をさせないでください。先端工具が飛んだりして事故になる恐れがあり危険です。
- ・インパクトレンチの使用では、軍手など巻き込まれる恐れのあるものを身につけて作業しないでください。回転している先端部に巻き込まれケガをする恐れがあり危険です。また服装にも十分に配慮して作業を行ってください。
- ・インパクトレンチ本体から出る空気に触れないように作業を行ってください。熱風により火傷をする恐れがあります。
- ・本製品はトルク制御していません。規定トルクが必要な場合はトルクレンチで作業を行ってください。

入組内容と各部名称

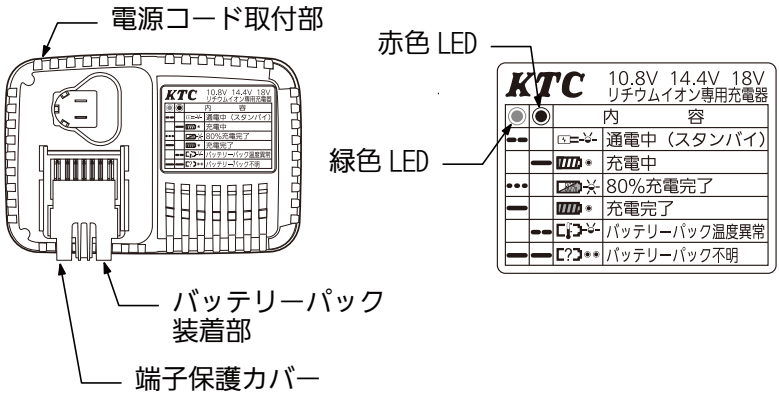
■入組内容

品　　名	品　番	員数
12.7sq. ホイールナット専用コードレスインパクトレンチ	JAE402	1
リチウムイオン 18V-3Ah バッテリーパック	JBE18030	1
リチウムイオン専用 18V 充電器	JHE180	1
専用樹脂ケース	JTAE424-C	1
取扱説明書		1

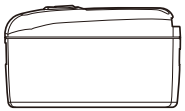
■インパクトレンチ



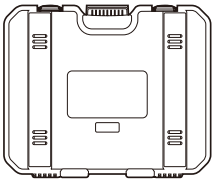
■充電器



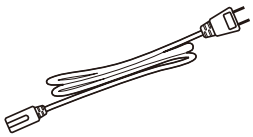
■バッテリーパック



■キャリングケース



■電源コード



仕　　様

■インパクトレンチ

方　　式	コードレス充電式電動インパクトレンチ
入力電圧	18V DC
能力ボルト	自動車用ホイールナット　M10 ～ M14 （六角ボルト　M6 ～ M16＝10mm ～ 24mm）
最大締付トルク	500N・m（気温 20℃満充電時）
無負荷回転数	0 ～ 1800rpm
四角ドライブ（アンビル）	12. 7sq.
寸　　法	W259 x D72 x H266
重　　量	2. 2kg

■充電器

入力電圧	100V
入力周波数	単相交流 50/60Hz 共用
電力（最大）	90W
出力電圧	10. 8・14. 4・18V DC
出力電流	3. 4A
操作温度	0 ～ 50℃
保管温度	-20 ～ 70℃
寸　　法	W180 x D120XH70

■バッテリーパック

充電池	リチウムイオン電池
交称電圧・容量	18V DC・3000mAh
充電時間	約 1 時間※
寸　　法	W129 x D80 x H75
重　　量	720g
充電器	JHE180　専用充電器にて充電

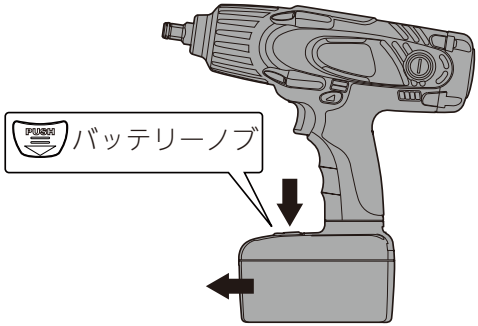
※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

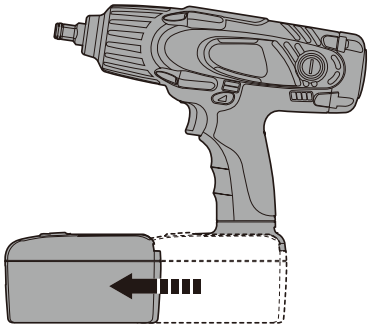
バッテリーパックの着脱方法

● バッテリーパックの取り外し

①バッテリーノブを押した状態で、バッテリーパックをインパクトレンチ前方にスライドさせる。

②インパクトレンチ本体からバッテリーパックを取り外します。



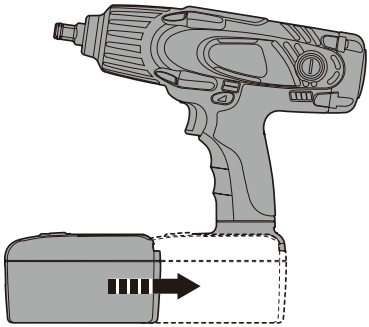


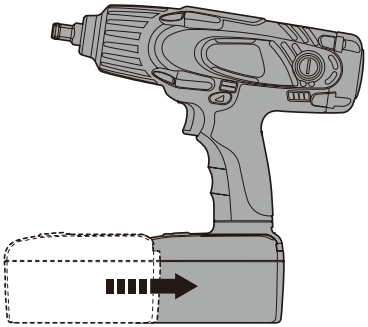
- バッテリーパック端子部に塵や埃が付かないように保管してください。また短絡しないように保管してください。
- インパクトレンチ本体の端子部塵や埃が付かないように保管してください。また端子を変形させてしまうような保管は避けてください。

● バッテリーパックの装着

①本体をバッテリーパックにスライドさせて装着します。

②バッテリーノブのロックがかかります。





- インパクトレンチ本体の端子部に異物が付いていないか確認してください。
- バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は無理に装着せず、ご購入の販売店様に修理を依頼してください。

充電方法

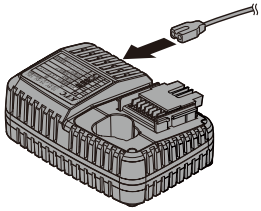
● 充電を行う前に

ご購入時にバッテリーパックは満充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。

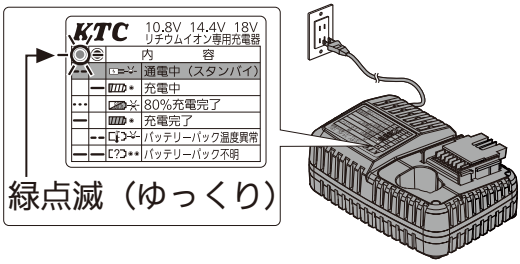
❗
- 充電は０～５０℃の場所で行ってください。
- バッテリーパックの温度が０℃以下または充電器の置かれている環境と大きく温度差がある場合、十分に充電を行うことができない恐れがあります。その場合はバッテリーパックを充電器の置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電を行ってください。
- バッテリーパックを２個以上連続で充電する場合は充電器が冷えるまで３０分以上休止させてください。

● 充電する

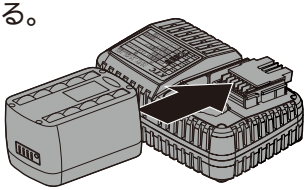
①充電器に電源コードを取り付ける。

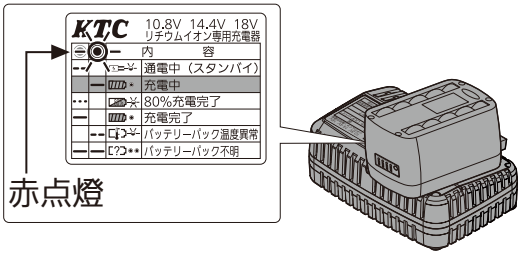


②コンセントに電源コードを差し込む。

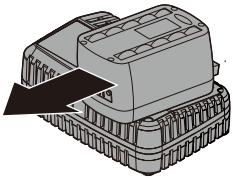


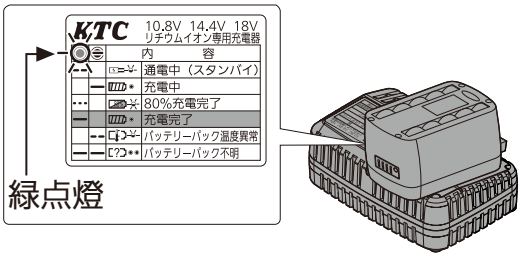
③バッテリーパック及び充電器の端子部に異物が無いことを確認し、充電器にバッテリーパックを装着する。





④充電が完了したら、充電器からバッテリーパックを取り外します。





充電方法

● 充電器のランプの見かた

緑色ＬＥＤ
赤色ＬＥＤ

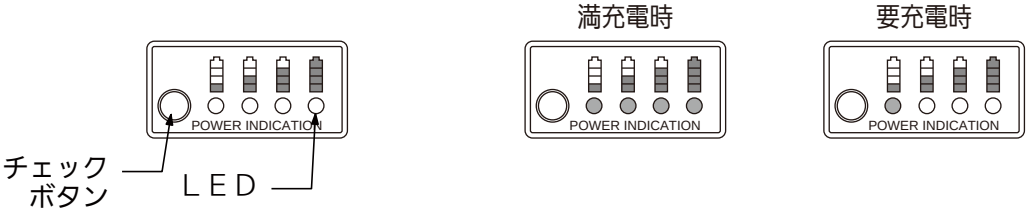
ランプの見方

━ ━	遅い点滅
･ ･ ･	速い点滅
━━	点　　燈

			内　　容	充電器及びバッテリーパックの状態
━ ━			通電中	充電器の電源が入っています。
	━		充電中	正常に充電しています。
･ ･ ･		80%	80%充電完了	
━			充電完了	正常に充電が完了しました。
	━ ━		バッテリーパック温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。 適正な温度になってから充電してください。
━	━	?	バッテリーパック不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

● バッテリーインジケーターの見かた

バッテリーパックにあるインジケーターはチェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



バッテリーパックについて

● 長持ちさせるために

- 本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。バッテリーパックは使用後、**充電せずに**保管してください。
- バッテリーパックを使用しないときは、埃が付かない場所で保管してください。
- 短絡させないように保管してください。

● 長時間使用しないときは

- 本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。再使用の前にフル充電し、長時間保管する場合には**充電せずに**保管してください。

● バッテリーパックの寿命

- 満充電してもご購入後と比較して、半分程度の作業しかできなくなった時は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは消耗品扱いとなります。

インパクトレンチ使用について

⚠ 警告

- ソケットはインパクトレンチ用ソケットをご使用ください。
- 作業前に、先端工具が確実に取り付いているか確認をしてから作業を行ってください。
- 指定部品の交換は、取扱説明書の指示にしたがって作業を行ってください。指定部品以外の部品は使用しないでください。
- 回転している先端工具に触らないでください。

⚠ 注意

- 空回転をさせないでください。先端工具が飛んだりして事故になる恐れがあり危険です。
- インパクトレンチの使用では、軍手など巻き込まれる恐れのあるものを身につけて作業しないでください。回転している先端部に巻き込まれケガをする恐れがあり危険です。また服装にも十分に配慮して作業を行ってください。
- インパクトレンチ本体から出る空気に触れないように作業を行ってください。熱風により火傷をする恐れがあります。
- 本製品はトルク制御していません。規定トルクが必要な場合はトルクレンチで作業を行ってください。

注意
- 都道府県の条例で定める事業所でご使用になる場合は、各条例で定める遮音規制値以下であることが必要です。必要に応じて遮音壁などの遮音措置を取ってください。

● 先端工具

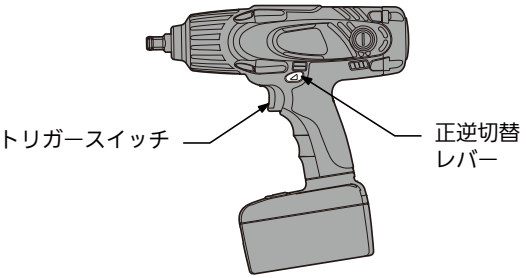
ホイールナットのサイズにあった、インパクトレンチ用ソケット及びインパクトレンチ用ホイールナットソケットをご利用ください。

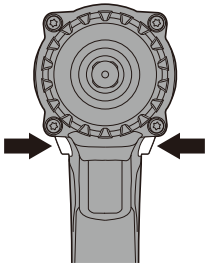
◆普通乗用車のホイールナット着脱推奨先端工具

KTC 品名	KTC 品番
インパクトレンチ用ソケット	BP4M-17TP・19TP・21TP・22TP
インパクトレンチ用アルミホイール化粧ナットソケット	ABP4-17ALP・19ALP・21ALP

● 先端工具を取り付ける

正逆切替ボタンを中央で止め、トリガースイッチをロックします。





レバーの位置

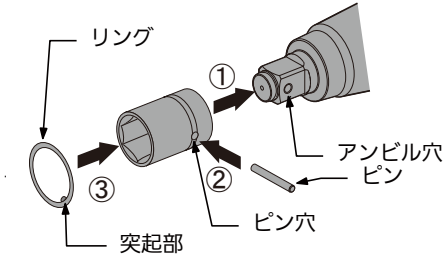
注意
先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認してください。

インパクトレンチ使用について

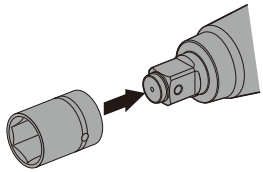
● 先端工具を取り付ける

●先端工具（インパクトレンチ用ホイールナットソケット）を取り付ける。

≪ピン・リングを使用する場合≫



≪ピン・リングを使用しない場合≫



①ソケットのピン穴とをアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。
②ピンを入れる。
③リング内側の突起をピン穴に入れるようにを取り付け、ピン抜けを防止する。

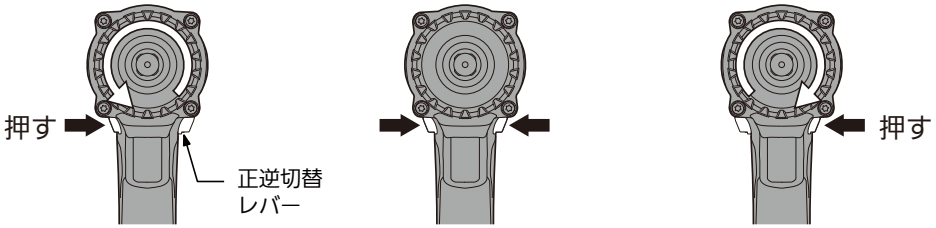
アンビルにソケットを取り付ける。

注意 先端工具の取り付け後、作業前にソケットの装着状態を確認してください。
●ピン・リング使用時　：ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか。
●ピン・リング未使用時：ソケットが容易に外れないか。
KTC 製品以外のインパクトレンチ用ソケットの場合は、ご使用されるメーカーの取扱説明に従って装着してください。

● インパクトレンチの操作

●インパクトレンチの回転方向

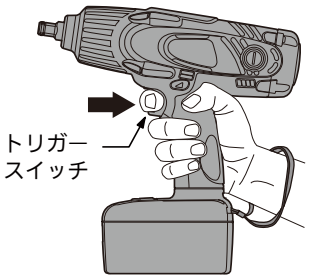
≪正転≫　≪ロック≫　≪逆転≫



正逆切替レバーの操作で回転方向が切り替えられます。レバーを中立位置にすることでトリガースイッチをロックすることができます。

●トリガースイッチの操作

トリガースイッチを引くことでアンビルが回転します。トリガースイッチの引き加減で回転数の調整が可能です。

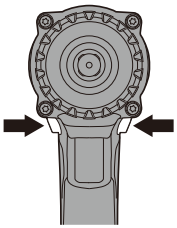


❗・作業時は右図のようにストラップに手を通して使用してください。
・正逆切替レバーはモーターが完全に停止してから操作してください。

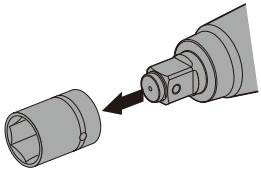
インパクトレンチ使用について

● 保守・保管方法

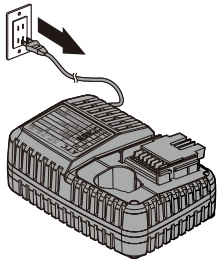
●作業が終わったら
≪ロック≫



①正逆切替レバーを
ロックの位置にする。



②ソケットを取り外す。



③充電器の電源コードをコンセントから抜く。

④キャリングケースに入れ、保管する。

●保守

❗ ・インパクトレンチ、バッテリーパック、充電器が汚れた時は柔らかい布でふき取ってください。
・ねじの緩みや亀裂、破損などの異常などがないか定期的に点検を行ってください。
・充電器の電源コードに異常がないか点検してください。
⃠ ・濡れた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体を拭かないでください。

充電器及びバッテリーパックの端子部の保守

❗ ・充電器やバッテリーパックの端子部にゴミや埃が付いている場合は、端子部に無理な力がかからないようにブラシなど使用し取り除いてください。
・充電器の端子部の保守点検は必ずコンセントから電源コードを抜いてから行ってください。
・バッテリーパックの端子部の保守点検は、短絡させない材質のブラシなどを使用し、金属製の物は使用しないでください。

●保管

インパクトレンチ本体・充電器

❗ ・保管する場合次のような条件下では**保管しないでください。**
自動車車内などの高温になる場所、直射日光のあたる場所、水分や湿気の多い場所、ゴミや埃の多い場所、子供が手の届く場所、ガソリンなどの引火物がある場所

バッテリーパック

・本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。バッテリーパックは使用後、**充電せずに保管してください。**
・バッテリーパックを使用しないときは、埃が付かない場所で保管してください。
・短絡させないように保管してください。

故障かな？と思った時は・・・

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

● 充電時

症　　状	考えられる原因	処　　置
充電できない（赤色・緑色 LED が光ってない）。	電源コードが接続されていない。	電源コードを接続して、充電して下さい。
充電完了したバッテリーパックを再度充電すると、充電中（赤色 LED が点灯）になる。	充電完了を検知するのに時間がかかるため。	そのまま放置してください。しばらくすると充電完了（緑色 LED が点灯）になります。
充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電するか、テレビ・ラジオから離して充電して下さい。
バッテリーパックを差し込んでも充電状態（赤色 LED が点灯）にならない。	充電器とバッテリーパックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いて下さい。
充電中にバッテリーパック温度異常の状態になる（赤色 LED がゆっくり点滅）。	バッテリーパックが熱くなっている。	周囲温度が 0 ～ 50℃の場所で充電して下さい。バッテリーパックの温度が下がると自動的に充電を開始します。
充電中にバッテリーパック不明の状態になる（赤色・緑色 LED が点灯）。	弊社指定のバッテリーパックを使用していない。	弊社指定のバッテリーパックで充電して下さい。
LED の表示が正しくない。（例）バッテリーパックを差し込んでいないのに、充電中の LED が点燈する・・・など。	高圧線の近くなど、電磁波の影響をうけている。	故障ではありません。ただし電子回路の誤作動により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないで下さい。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用を中止して下さい。

故障かな？と思った時は・・・

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

● 作業時

症　　状	考えられる原因	処　　置
動作が途中で停止する。	本体が高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用して下さい。
動作が途中で停止する。バッテリーパックが温度異常（パワーインジケーターが全て点滅する）。	バッテリーパックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用して下さい。
動かない。または動いてもすぐ止まる。（パワーインジケーターの LED 1 個が点滅する）。	バッテリーパックを充電していない。	充電して下さい。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いて下さい。
	カーボンブラシが摩耗している。 カーボンブラシ交換方法 ▷▷▷P14	新しいバカーボンブラシを購入して下さい。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックを購入して下さい。
フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの寿命	
	バッテリーパックの残量が少なくなった。	充電して下さい。
	バッテリーパックを長期間放置していた。購入したばかりである。	
	温度が低い場所（0℃以下）で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が 0 ～ 50℃になってから再度充電して下さい。
トリガースイッチを離すと、異音がして停止する。	ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
フル充電してもナットの使用本数が少ない。	バッテリーパックの寿命	新しいバッテリーパックを購入して下さい。
	温度が低い場所（0℃以下）で保管したバッテリーパックを充電した。	バッテリーパックの温度が 0 ～ 50℃になってから再度充電して下さい。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用を中止して下さい。

故障かな？と思った時は・・・

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

● その他

症　　状	
電源プラグを接続しても、通電中（スタンバイ）（緑色 LED がゆっくり点滅）にならない。	ただちに使用を中止して下さい。
充電器にバッテリーパックを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色 LED がゆっくり点滅）のまま変化しない。	
日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1. 5 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。	
長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。	

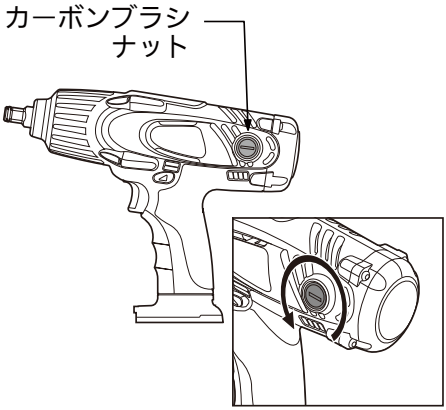
点検を行っても、症状の改善が認められないときは、

本体・充電器・バッテリーパックをセットでご購入の販売店様へ修理を依頼してください。

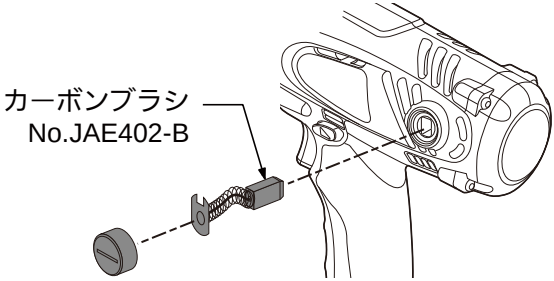
カーボンブラシの交換

トリガースイッチを引いても動かない場合は、カーボンブラシが摩耗していることが考えられます。新しいカーボンブラシへの交換は下記の要領で行ってください。
カーボンブラシは、***KTC*** 純正部品（No. JAE402-B）をお買い求めください。

①カーボンブラシナットを開ける。



②カーボンブラシを取り外し、新しいカーボンブラシを入てパネルを取り付けます。



❗ ・カーボンブラシの交換は必ずバッテリーパックを取り外してから行ってください。
・カーボンブラシを交換するときは、左右両方を一度に交換してください。
・交換部品は必ず指定の部品を使用してください。

memo

KTC
KYOTO TOOL

製造国：台湾　販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社　〒613-0034　京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地　製品情報 http://ktc.jp/

お客様窓口
☎(0774)46-4159　FAX (0774)46-4359
E-mail：support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日及び弊社休業日除く）

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記支店までお寄せください。
支　店 ☎ 東　京　(03)3752-2261　名古屋　(052)882-6671
近　畿　(0774)46-3711